

令和6年播種（令和7年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔12月15日付調査結果〕

*調査は12月13日に行っている

1. 供試品種および耕種概要（中旬区・下旬区共通）（中旬播種区）

供試品種	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	シラネコムギ 夏黄金	

- ・播種期：10月18日
- ・播種量：0.9 kg/a(ドリル播き、条間 25 cm)
- ・施肥：尿素磷加安 777 号
(N : 0.8 kg/a、P : 0.8 kg/a、K : 0.8 kg/a)

- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠
(ほ場長辺方向 5m×ほ場短辺方向 2.5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目(前作水稻)

- (下旬播種区)
- ・播種期：10月31日
 - ・播種量：1.0 kg/a(ドリル播き、条間 25 cm)
 - ・施肥：(中旬播種区と同じ)

2. 気象概況〔10月～12月上旬〕(図1)

- ・平均気温は、10月第1半旬、第4半旬～第6半旬、11月第3半旬が高温傾向で経過した。
- ・降水量は、10月第1半旬、第3半旬～第5半旬、11月第2、3半旬、第5半旬、12月第1、2半旬が少雨となった。
- ・日照時間は、10月第3半旬、11月第5、6半旬、12月第2半旬が多照で、10月第2半旬、11月第4半旬が寡照であった。

3. 生育概況

1) 播種・出芽状況（表1）

- ・中旬播種区の出芽日数は大麦・小麦ともに6日で、平年より3日早かった。
- ・下旬播種区の出芽日数は大麦・小麦ともに9日で、平年より2日早かった。
- ・出芽良否は、大麦と小麦ともに「良」であった。

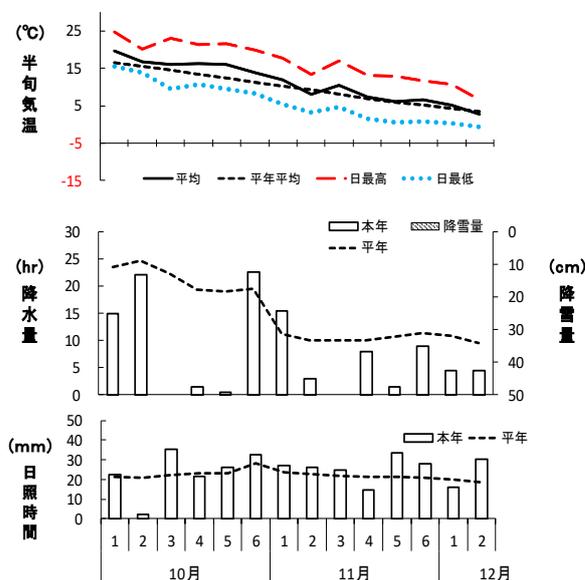


図1：気象概況（古川アメダス）

2) 12月13日現在の生育状況（表2）

中旬播種区

- ・草丈は、シュンライが13.1cmで平年をやや上回り、ミノリムギが15.0cm、シラネコムギが15.6cmで平年を上回り、夏黄金が12.2cmで平年をやや上回った。
- ・茎数は、シュンライが711本/m²、ミノリムギが749本/m²、シラネコムギが665本/m²、夏黄金が637本/m²で平年を上回った。
- ・葉数は、シュンライが5.0枚で平年差+0.1、ミノリムギが5.3枚で平年差+0.3、シラネコムギが5.8枚で平年差+0.7、夏黄金が5.5枚で平年差+0.5であった。
- ・葉色（GM値）は、シュンライが40.8、ミノリムギが39.3、シラネコムギが40.5、夏黄金が43.6であった。

下旬播種区

- ・草丈は、シュンライが7.0cmで平年並、ミノリムギが8.6cm、シラネコムギが11.0cm、夏黄金が9.2cmで平年をやや上回った。
- ・茎数は、シュンライが229本/m²で平年よりやや少なく、ミノリムギが315本/m²で平年より多く、シラネコムギが187本/m²で平年より少なく、夏黄金が207本/m²で平年よりやや多かった。

- ・葉数は、シュンライが 2.5 枚で平年差-0.4、ミノリムギが 3.0 枚で平年差+0.1、シラネコムギが 3.4 枚で平年差+0.1、夏黄金が 3.1 枚で平年差±0.0 であった。
- ・葉色 (GM 値) は、シュンライが 42.2、ミノリムギが 41.6、シラネコムギが 39.4、夏黄金が 42.0 であった。

3) 幼穂長及び幼穂分化程度 (表 3)

- ・中旬播種区の幼穂長は、シュンライが 0.74mm、ミノリムギが 0.63mm、シラネコムギが 0.25mm、夏黄金が 0.19mm であった。
- ・下旬播種区の幼穂長は、シュンライが 0.25mm、ミノリムギが 0.27mm、シラネコムギが 0.04mm、夏黄金が 0.04mm であった。
- ・12月13日現在、いずれの播種期・品種も、幼穂形成始期には達していない。

4. 栽培管理の状況

- ・播種後はプロスルホカルブ乳剤 (商品名: ボクサー) を散布した。
- ・年内に踏圧を行う予定。

表 1 出芽状況

品種	区別	播種期	出芽期	出芽日数			出芽良否	
				本年	前年差	平年差		
大麦	シュンライ	中旬播種区	10/18	10/24	6	-4	-3	良
		下旬播種区	10/31	11/9	9	0	-2	良
	ミノリムギ	中旬播種区	10/18	10/24	6	-4	-3	良
		下旬播種区	10/31	11/9	9	0	-2	良
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	10/18	10/24	6	-4	-3	良
		下旬播種区	10/31	11/9	9	-1	-2	良
	夏黄金	中旬播種区	10/18	10/24	6	-4	-3	良
		下旬播種区	10/31	11/9	9	-1	-2	良

注1) 出芽日数: 播種翌日から出芽期までの日数。

注2) 出芽良否: 出芽率 80%以上を「良」、60%以下を「不良」、その中間を「中」とする。

注3) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

表 2 生育状況

品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			葉色(GM値)			
		本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	
大麦	シュンライ	中旬播種区	13.1	95	113	711	137	120	5.0	-0.6	+0.1	40.8	-	-
		下旬播種区	7.0	90	96	229	77	92	2.5	-0.7	-0.4	42.2	-	-
	ミノリムギ	中旬播種区	15.0	107	121	749	133	130	5.3	0.1	+0.3	39.3	-	-
		下旬播種区	8.6	103	108	315	105	126	3.0	-0.4	+0.1	41.6	-	-
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	15.6	98	125	665	101	125	5.8	+0.3	+0.7	40.5	-	-
		下旬播種区	11.0	98	107	187	50	80	3.4	-0.1	+0.1	39.4	-	-
	夏黄金	中旬播種区	12.2	98	112	637	120	157	5.5	+0.2	+0.5	43.6	-	-
		下旬播種区	9.2	104	110	207	74	105	3.1	-0.2	+0.0	42.0	-	-

注1) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 越冬前目標生育量: 葉数4~5枚、分けつ1~2本、茎数 400~500 本/m²。

注3) 葉色は本年から測定を開始したため前年差、平年差はない。

表3 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	区別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	幼穂形成始期(月/日)			
		本年	前年差	平年差		本年	前年	平年	
大麦	シュンライ	中旬播種区	0.74	-0.05	0.03	VII	-	1/5	1/24
		下旬播種区	0.25	-0.09	-0.02	V未満	-	2/12	3/3
	ミノリムギ	中旬播種区	0.63	0.11	0.08	VI	-	1/16	2/5
		下旬播種区	0.27	-0.04	0.01	V未満	-	2/13	3/4
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	0.25	0.10	0.08	V未満	-	2/23	3/4
		下旬播種区	0.04	-0.07	-0.06	V未満	-	3/6	3/19
	夏黄金	中旬播種区	0.19	0.01	0.04	V未満	-	2/24	3/6
		下旬播種区	0.04	-0.05	-0.05	V未満	-	3/5	3/20

注1) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mm に達した日。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0	

注1) 幼穂分化程度は I ~ X の10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。